

# よしみだいすけさんによる、 ハワイ神話「月の女神 Hina」のトークショー in 山口 フラダンサー必見の大切なメッセージを発信

ハワイ在住30年のフラナビゲーター、よしみだいすけさんによるハワイの女神講座「月の女神 Hinaの歌とストーリー」が、1月11日の新月の夜、山口県下関市のゲストハウス「ウズハウス」で開催されました。

縁あって、この講座に参加する機会にめぐまれた日刊サンスタフが、レポートしてきました。

フラを習っている方、フラに興味のある方、歌に合わせてフラを踊る時、どのくらいハワイ語の歌詞の意味を理解していますか？

なにもわからずただただフラを踊るのではなく、フラダンサーは、歌詞の意味や神話との結びつきなどがわかった上で、気持ちを込めてフラを踊ることが大事だとよしみさんは言います。よしみさんは、そんなフラダンサーのための「踊らない」フラ教室を運営し、踊る以外に大切な役立つ情報を発信しています。

今回、開催されたトークショーは、主に「月の女神 Hina」をテーマにした神話のお話。Hinaは、月に登った女神であり、半神半人マウイの母、モロカイ島の生みの母、などなどHinaにまつわる神話がハワイ各地で残されており、よしみさんはそのいくつかのストーリーや、Hinaについて歌われるメレ(歌)などを紹介してくださいました。

日本人は、月と言えば「餅つきをしているウサギ」や、「かぐや姫」を思い浮かべますが、ハワイの人は、月の模様が「タパ(樹皮布)を作っている女性」に見えたことなどから、月にはタパ作りの名人だった女神Hinaがいると伝言されてきたそうです。

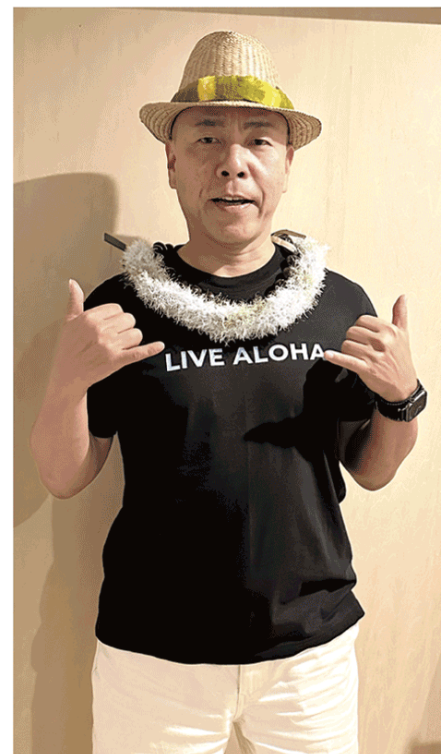
日本とハワイの月のイメージが違うように、ハワイの神話もHinaの伝説だけでもハワイ各地で数々の伝



説が言い伝えられ、時にはとんでもないぶっとんだエピソードもあります。現実ではありえないような神話は、時系列やつじつまも合わないので、ストーリーに整合性を求めず、気軽に受け入れてほしいと、よしみさんは言います。

毎日タバコ作りをしていたHinaは、横暴な夫や生活に疲れ、ある夜に虹を登って月に逃げたという話は有名ですが、またあるときは、息子のマウイをそそのかして太陽をロープで捕まえさせて太陽が進むスピードを緩めた、神話らしい非現実的な話もあったり、Hinaは良妻賢母で美しい女性の象徴とされている一方で、生活に疲れて逃げ出す・・・という現代でも身近に起こり得るような一面も。月が私たち人間にとって、とても身近なのと同様に、女神と言えどもとても親近感が湧く存在でもあるとも感じさせられました。

ハワイ語のメレ(歌)には、たくさんの神話やメッセージが込められています。フラダンサーにとって、踊る以外に大事なハワイ文化や歴史、伝説などの背景を理解し、自然にすっと美しくフラを踊れるようになると素敵ですね！



今回の会場に足を運んだ参加者の多くは、フラダンスを習う方々。参加者はそれぞれ感じた思いや感想を一言ずつ発表し、そして心に留めて、充実した表情いっぱいトークショーを後にしていました。

よしみさんは、そんなフラダンサーのためのナビゲーターを、インスタグラムなどで発信しているので、気になる方はぜひチェックしてみてくださいね！ (取材・文中野佐衣子)

フラナビゲーター よしみだいすけ  
オフィシャルウェブサイト  
[www.yoshimidaisuke.com](http://www.yoshimidaisuke.com)

インスタグラム  
[www.instagram.com/daisuke.hulanavi](https://www.instagram.com/daisuke.hulanavi)

主催: \*mahaloha\* Mahalo  
[www.instagram.com/mahalomikabell](https://www.instagram.com/mahalomikabell)  
[www.instagram.com/mahaloha808.083](https://www.instagram.com/mahaloha808.083)

